

箱根明神ヶ岳

快晴に噴煙がまぶしい

一面の青空の中のいく筋かの雲を背景に真っ白な雪を被り長く裾を引く富士山が、デーンと聳えている。

富士山の手前には外輪山が芦ノ湖北岸の山々から金時山を経て明神ヶ岳、さらにその先まで続いている。左側には南足柄市の町並みの奥にピラミダルな丹沢大山、さらに小田原市街と相模湾が遠望出来る。

大涌谷の噴煙は、ドーム状の中央火口丘よりも高く立ち上がっている。

細くえぐれ滑る赤土の道、霜柱のある道、斑入りの深緑

の葉を着けた寒葵（カンアオイ）とその根本の黒褐色でグロテスクな花（山野草のマニアはそこが魅力らしい）、たった一株の松虫草の花、西陽を浴びて逆光に輝く秋の七草の尾花（薄）も印象に残っている。

こんな絶景に巡り会わせて戴いた晴れ女三人衆に感謝です。



T
K

【山行日】H 27年 12月 9日

【参加者】S々木雅、O栗、G藤、TK



【追記】

大涌谷の噴煙のため開催を危ぶむ声が週刊誌の記事にあった新春恒例の箱根駅伝は、選手のリタイアもなく全チーム完走出来たようであった。

一人が母校・チーム等の期待に添えず途中棄権となり、非常に落ち込まなければならぬのは、見るに耐えない。このような光景を見るたび、東京五輪マラソン銅メダルの円谷幸吉選手が、国・国民の過度の期待のためさらに努力し、頑張りに頑張った後の悲劇が脳裏をよぎる。

「頑張る」の語源は我を張

るといふ説もある。また、絵

本作家の五味太郎氏は「努力

する」といふ状態が起きるのは、

本人があまり得意ではないこ

と、やらされている、という

場合です。得意なこと、好き

なことをやっている時は、励

んでいる、熱中しているとい

うようなことにはなりません、

努めて力む必要はないので

す」と大人向けの絵本『そう

いうことなんだ。』で書いてい

る。

昨年トリプルスリーを達成

したプロ野球選手は『楽しみ

たい』と言っていた。

熱中し、『楽しむ』ことを主

眼に、頑張らなくていい、努

力しなくていい登山も良いな

と思う。

でも、

『頑張らなくてはならないこ

と、譲れないこともある』

徳重さんも雪山のテント内で

そんなことを言っていた。